

採集個体は全て保護水面区域内へ移植した。

表6 シャコガイの生息状況調査

採集場所	採集種類と個体	調査時間	採集人数
1	ヒレジャコ 4	2:00	7
	シラナミ 3		
	シャブウ 1		
2	ヒレジャコ 4	1:30	7
	シラナミ 3		
	シャブウ 1		
3	シラナミ 3	1:00	7

### 5. シャコガイの種苗生産に関する試験

今年度はヒメジャコの種苗生産と大型シャコガイである非穿孔性のヒレジャコ (*Tridacna squamosa*) 及びシャブウ (*Hippopus hippopus*) の種苗生産を試みた。

#### (1) ヒメジャコ

ヒメジャコの種苗生産は今年度は合計4回の採卵をおこなった。表7に今年度の種苗生産結果を示した。

表7 ヒメジャコの種苗生産結果

種苗生産回数 項目	1	2	3	4
採卵月日	1983. 7. 11	1983. 7. 19	1983. 7. 28	1983. 9. 7
採卵法	干出-温度刺激法	切り出し-アミノ酸処理法	切り出し-アミノ酸処理法	切り出し-アミノ酸処理法
使用母貝数	9	4	4	4
飼育D状幼生数( $\times 10^6$ )	311	173	60	120
初期沈着稚貝数( $\times 10^6$ )	17.7	8.7	25.8	70.3
1mm 稚貝数( $\times 10^6$ )	0.05	1.7	8.5	10.4

第1回目は1983年7月11日に干出-温度刺激法で採卵した。親貝は川平湾より採集した天然親貝から選別して9個体使用した。複数個体(5-6個体)が受精から受精卵に達したが、その後の発生が悪くD型浮遊仔貝にまで進んだものは1個体(殻長8.12cm)の卵のみであった。D型浮遊仔貝数は311万個体であった。前期幼生飼育は500ℓポリカーボネート水槽3基に幼生を1基あたり100-110万収容して、餌はモノクリシス、ドンナリエラ、共生藻の3

